

第44回技術士全国大会（山口）参加レポート（青年部）

報告者：青年部 長島哲郎（情報工学）

去る平成29年10月20日～23日にかけて、山口県で技術士全国大会が開催されました。近県での開催ということもあり、島根県技術士会から計十余名の参加がありました。

青年部で事前に参加者を募ったところ、大坂伊作、中村直樹、嘉藤剛、長島哲郎の4名の応募があり、21日～22日の2日間、参加をしました。

本年は「維新百五十年～新しい時代を作る技術士の役割～」を大会テーマに、山口県健康作りセンターを中心に、様々な分科会やイベントが執り行われました。本会イベント、青年イベントを含め、総勢600名以上の技術士が一堂に会し、分科会活動などを通じて交流を深めました。



○分科会への参加

21日午前中に第1分科会（新技術「地方創生と新技術」）、第3分科会（技術者倫理「次世代技術者の育成と技術者倫理」）が開催されました。午後から第2分科会（防災「防災分野のICT活用推進における技術士の役割」）と、我々が参加した第4分科会（青年技術士「科学技術の発展のあり方とは」）が開催されました。

今回は地元中国地方での開催ということもあり、中国本部の一員として分科会開催の手伝いなども行いました。分科会テーマに沿って論文発表を行った上で、関連した2テーマについてのディベート企画が行われ、数名の班ごとに分かれて白熱した議論が展開されました。

ディベートの結果は **Logic** チーム、**Act** チームの2チームに分かれて集計が行われ、見事 **Logic** チームが勝利しました。



○大会式典・記念講演

分科会終了後に大会式典が行われ、全国大会の開会挨拶～大会宣言などが行われました。記念講演ではテレビでもおなじみのアルピニスト野口健氏により「富士山から日本を変える」という演題で講演が行われました。講演ではテレビでは聞くことのできない裏話などもあり、大変興味深い内容でした。

○大懇親会

夜には青年技術士が集まり懇親会も行われました。
全国の地域本部より地酒を持ち寄り、そのお酒の魅力をプレゼンするという企画も行われ、ここでも参加者のプレゼン力が試されていました。



○テクニカルツアー

2日は朝からテクニカルツアーが開催されました。
青年テクニカルツアーでは、班ごとにあらかじめ用意された謎を解きながら湯田温泉付近の観光スポットを回るツアーが用意されていました。若干小雨が降る中ではありましたが足湯などにも浸かりながら、各班思い思いの時間を過ごしました。

最後に県政資料館において合同での謎解きがあり、**Logic** チーム、**Act** チームがともに力を合わせることで、今回の青年のテーマでもあった「一体感」の演出の中、終わることができました。



○まとめ

今回も様々な分野の技術士の方とお話する機会に恵まれ、その深い知見・造詣に触れることができました。

また、中国本部開催ということで、広島の中国本部、山口支部の皆さんが非常に苦勞されて開催されたことを目の当たりにすることができました。ほとんどお手伝いはできませんでしたが、主催者の皆様の不断の努力に感謝しつつ、来年の福島（郡山）へバトンを渡しました。